

中部地域①

タイトル	AI 乗合オンデマンド交通「のらぎあ」の導入と現状		
取組地域	長野県茅野市	実施者	【運行事業者】諏訪交通（株）、茅野バス観光（株）、アルピコタクシー（株）、第一交通（株） 【共創パートナー】NTP トヨタ信州（株）
実施時期	2020 年度：実証実験 2022 年度：本格運用		
事例の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・長野県茅野市では、<u>高齢者の免許返納の進みにくさや、学生・高齢者の移動手段不足、別荘・観光客の移動の不便さ、交通事故増加、商業地での消費停滞</u>など複合的な交通課題が顕在化していた。 ・これらを解決し、公共交通の利便性向上と地域活性化を目指すため、同市は国土交通省の日本版 MaaS 事業に採択され、<u>AI オンデマンド交通「のらぎあ」</u>や通学運行バスの導入を中心とした実証実験を実施し、2022 年度から本格運用。 ・実証実験では、AI による乗合タクシー配車、<u>既存交通との連携</u>、デジタルクーポンの配信、商店街の送客増加など多面的な取り組みが行われた。 ・運行台数：8 台 ・利用料金：3km 未満 300 円、3km 以上 5km 未満 500 円、5km 以上 700 円 		
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・「乗りたい日、乗りたい時間に乗りたい場所から行きたいところを予約」が特徴で、<u>市内約 8000 か所の仮想停留所を設定</u>（自宅から 350m 範囲内で乗り降りできる）した。 ・二次交通として、茅野バスのホテルと蓼科湖間の予約送迎の実施（LINE で予約）した。 ・三次交通（蓼科湖周辺の観光）としてシェア型マイクロモビリティサービスを提供 <p>※今後、インバウンド層をつかむために宿泊・別荘販売管理デベロッパー・旅行会社との連携も検討。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AI を活用した<u>オンデマンド交通（のらぎあ）（茅野市実施）と通学バスを組み合わせたハブ&スポーク型の新交通体系を構築</u>した。利用者はアプリや電話で予約し、市内の広いエリアで自由に乗降できることで、利便性が確保された。 ・また、高齢者割引・紹介特典・クーポン配信など、<u>多様なインセンティブを取り入れて利用を促進</u>し、市街地の商店への送客や地域経済の活性化にも寄与しました。 <p>さらに、AI 最適化により複数の利用者を効率よく乗せる仕組みを導入し、渋滞緩和や環境負荷低減、家族の送迎負担軽減にもつなげています</p>		
取組効果	<p>【利用状況】※令和 4 年 8 月～7 年 3 月まで状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢別登録者は、総数 16,300 人、20 歳未満、20 歳代など若者の関心が高い。 ・市内在住の登録者が約半数 48% 登録、人の交流を目的の 1 つとしていることを考えると効果的な公共交通になっていると考えられる。 ・予約の総件数は、132,712 件で 70 歳～90 歳代の予約が半数を占める（50.3%）20 歳未満など若い世代は塾や普段の外出で利用している傾向もある。 ・20 歳未満、20 歳代はほとんどアプリで予約しており、全体でアプリ予約は 43% ・平日利用は約 200 人、土日祝は約 100 人 ・1 日当たり <u>予約したい時間帯に予約できない人の割合は約 20%</u> ・廃止路線の利用者数は、約 72,000 人（平成 30 年度） 		
参考資料 URL	○AI 乗合オンデマンド交通「のらぎあ」の導入と現状（茅野市提供資料）		
静岡県内の他地域展開の可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・本格運用しており、AI 乗合オンデマンド交通が最も成功していると思われる事例である。 ・既存交通（バス）と新交通（オンデマンド交通）を組み合わせ、住民の移動を支援している。 		

デマンド交通の効率化・合理化に関する他県事例

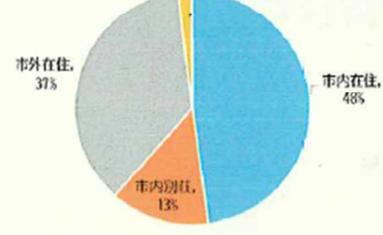
<p>実現に向けた留意点</p>	<p>AI 乗合オンデマンドは、「予約したい時間帯に予約できない」、「乗合は嫌だ」という声が多いため、住民の理解促進に努める必要がある。</p>
------------------	--

関連図面等

13 登録状況 (令和4年8月22日から令和7年3月31日まで)



- 年齢別登録者の構成**
- 登録者の総数は、16,300人
 - 年齢別の割合はほぼ均等
 - 20歳未満、20歳代など若い世代の関心が高いことがうかがえる

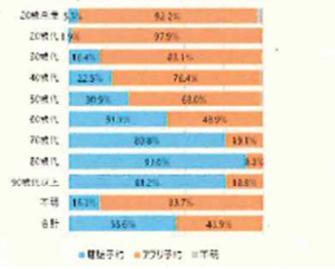


- 居住地別登録者の構成**
- 約半数（48%）が市内在住者
 - 残りの約半数は、市内別荘所有者、市外在住者
 - 人の「交流」を目的の一つとしていることを考えると、効果的な公共交通になっていると考えられる

14 予約状況 (令和4年8月22日から令和7年3月31日まで)



- 年齢別予約数**
- 予約総件数は、132,712件
 - 70歳代、80歳代、90歳代の予約が約半数（50.3%）
 - 20歳未満など若い世代でも塾や普段の外出などで利用している人が少なくない



- 年齢別予約方法**
- 20歳未満、20歳代のほとんどはアプリ予約
 - 全体ではアプリ予約は約43.9%

出典：AI 乗合オンデマンド交通「のらざあ」の導入と現状
茅野市企画部地域創生課地域創生係 ※茅野市提供資料より

デマンド交通の効率化・合理化に関する他県事例

中部地域②

タイトル	スマートムーバー 五日市湾岸地区		
取組地域	広島県広島市	実施者	実施主体：広島電鉄（株）
実施時期	2025年7月～		運行事業者：ひろでんモビリティサービス（株）
事例の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・広島市佐伯区五日市湾岸地区は、北側は住所を中心に区役所、病院、商業施設などの生活関連施設が中心のエリア、南側は工業地域として工場や物流施設等が立地している。 ・このエリアはJR、広島電鉄及びバスの公共交通が存在するが、北側の3つのモードが平行して東西方向に運行しているものの、公共交通の不便な地区が多く、住民の高齢化による移動手段の確保や工業地域の従業員輸送が課題であった。 ・AI オンデマンドシステムを活用した小型乗合バス（SMART MOVER）を運行することで地域内住民の交通利便性を向上させる。 ・2025年7月から <u>既存の AI オンデマンド交通を継続しつつ、新たにあらかじめ定めた時刻や経路を小型車両で運行する路線バスの実証運行を開始</u>している。 		
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・新設する路線バスはあらかじめ定めた時刻・ルートを運行するもので、予約不要でご利用できる。 ・<u>路線バスと、既存の AI オンデマンドバス（要予約）を組み合わせた運行</u>により、相互の運行の <u>長所・短所を補完しながら利便性の維持・拡大</u>を図るとともに、この地域にとってより使いやすく持続可能な運行形態を模索する。 		
取組効果	<p>○AI オンデマンドバスの検証結果（2023年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満足度:90% ・利用目的：自宅から駅までの移動 34%、通院 13%、買物 8%、地域活動参加 8% ・利用者年代：35~49歳 39%、20~34歳 18%、50~64歳 16%、70歳以上 14% 		
参考資料 URL	<p>○広島市 HP https://www.city.hiroshima.lg.jp/res/projects/default_project/_page_/001/016/995/1.pdf</p> <p>○広島電鉄 五日市湾岸地区における AI オンデマンドバスの運行と他地域への導入可能性検討 https://jcomm-or-jp.prm-ssl.jp/18th_jcomm/data/R5_PB13.pdf</p> <p>○広島電鉄 五日市湾岸地区における AI オンデマンドバスと 路線バスを組み合わせた実証運行の開始について https://www.hiroden.co.jp/topics/2025/pdf/0714-smartmover/release.pdf</p>		
静岡県内の 他地域展開 の可能性	AI オンデマンド交通を導入している自治体において、定時定路線のバスを組み合わせるお互いの長所・短所を補完し合いながら運行している好事例である。		
実現に向けた 留意点	特になし		

関連図面等

■運行ルート

(2) 運行ルート

五日市駅南口 ~ 原田病院 ~ (フリー乗降区間) ~ 楽々園 kisui ~ イオンタウン楽々園

※五日市駅南口、原田病院、楽々園 kisui、イオンタウン楽々園の各バス停は、既存の AI オンデマンドバスと共用します。
 ※運行ルートの一部(五日市漁港公園~楽々園 kisui)をフリー乗降区間に設定し、安全が確保できる場所であれば乗降可能とします。



新デザイン
[広電バス]



[広電電車 (3950 形)]



(参考) 現行デザイン



1

(3) 運行計画

運行系統	始発時刻	終発時刻	運行便数
イオンタウン楽々園→五日市駅南口	平日	始発 7:30	21 便
		終発 19:15	
	土日祝	始発 9:00	11 便
		終発 18:10	
五日市駅南口→イオンタウン楽々園	平日	始発 7:48	18 便
		終発 18:50	
	土日祝	始発 8:30	11 便
		終発 17:40	
合計	平日		39 便
	土日祝		22 便

(参考) AI オンデマンドバスの運行時間帯については、以下のとおり変更となります。

	運行時間帯	
	変更前	変更後
平日	8:30~18:30	9:30~17:30
土日祝	9:30~17:30	変更なし

(4) 運賃

①普通運賃

大人 (中学生以上)	小児 (小学生)	障がい者	乳幼児 (未就学児)
300 円	200 円	200 円	無料

②企画乗車券 ※いずれもデジタルチケットサービス「MOBIRY TRAVEL」での発売となります。

・定額乗り放題バス (有効期間 30 日)
 30 日間有効の定期乗車券です。

大人	小児
3,000 円	2,000 円

・広電電車セット券

「広電電車 2 号線 (広島駅~広電宮島口) 1 回」 + 「SMART MOVER 1 回」の乗車が可能
 ※広電電車 2 号線は広電五日市・佐伯区役所前・楽々園のいずれかで乗車または降車される場合に限りです。

※本券をご利用の場合、広電電車市内線で乗換券は発行しません。

大人	小児
400 円	300 円

③決済手段

現金、MOBIRY DAYS、交通系 IC カード、WAON、クレジットカード
 ※クレジットカードはデジタルチケットサービス「MOBIRY TRAVEL」でご利用の場合に限ります。

参考；広島電鉄 五日市湾岸地区における AI オンデマンドバスと 路線バスを組み合わせた実証運行の開始について

<https://www.hiroden.co.jp/topics/2025/pdf/0714-smartmover/release.pdf>

デマンド交通の効率化・合理化に関する他県事例

中部地域③

タイトル	市内循環バスの再編、車両の小型化や運行の多頻度化及び熱心な利用促進に関する取組		
取組地域	山形県鶴岡市	実施者	庄内交通株式会社 鶴岡市役所 地域振興課
実施時期	2022年10月		
事例の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴岡市中心部を巡回する市内循環バスは利用者減少に悩んでいた。特に高齢者が増える中で、従来ルートや運行頻度では十分に使い勝手が良いとは言えず、路線の維持が課題であった。 ・<u>地域ニーズに応えた路線設計と、市と交通事業者が連携し徹底した周知活動により「地域の足」を蘇らせた好例</u>である。 ・自治体は、多部局・多主体が参画する協議の下、高齢者の生活動線を重視したルートづくりとサービス改善を行った。医療機関、スーパー等の生活施設や高齢者住宅地を効率よく巡回するよう既存2ルートを見直し、新規1ルートを追加して3路線6系統に再編した。 ・庄内交通は再編に合わせて市と協力し、地域内全戸へのチラシ配布、高齢者体操教室や町内会・学校行事での出張説明を実施した。さらに鶴岡市が高齢者向け定期券を補助し、庄内交通がその割引定期券や1日乗車券を積極販売した。これまで以上に周知活動に尽力した。 		
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>高齢者に配慮したバス停増設と小型車両導入</u>で生活動線に密着 ・路線再編と増便で日常的に使いやすい運行体制を実現 ・多部局・地域住民と連携し、丁寧な利用促進活動を徹底 		
取組効果	<ul style="list-style-type: none"> ・再編後わずか半年で利用者数は再編前の約5倍に急増した。特に高齢者利用が飛躍的に伸び、地域の生活交通利便性が大幅に向上 ・<u>「小型車両化」</u>は副次的効果として、中型二種免許で運転可能なため<u>女性や新人でも乗務しやすく、深刻化する運転士不足への対応策にもなった。</u> 		
参考資料 URL	<p>○国土交通省報道資料 令和6年交通関係優良団体大臣表彰（地域公共交通部門） ～東北からは、「庄内交通株式会社」・「鶴岡市」が受賞！～ https://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/content/000338633.pdf</p> <p>○鶴岡市 ホームページ 国土交通大臣表彰の受賞について（市内循環線再編の取組）・公共交通を利用しましょう！ https://www.city.tsuruoka.lg.jp/seibi/tiikikoukyoukoutu/dajinhyouyou.html</p>		
静岡県内の 他地域展開 の可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体と交通事業者が連携し、高齢者ニーズに対応した路線再編を図った好事例である。 ・小型車両化（ダウンサイジング）により、運転手不足への対応も可能となった。 		

デマンド交通の効率化・合理化に関する他県事例

実現に向け た留意点	・自治体と交通事業者が目標を共有する必要がある。
---------------	--------------------------

関連図面等

■取り組み紹介資料

庄内交通(株)市内循環線の再編の内容

「利便性向上による利用者増加を図る」という“逆転の発想”により、令和4年10月に市内循環線の再編を実施

鶴岡市の役割

素案の作成まで

- ▶鶴岡市地域公共交通計画策定時のアンケートにて、路線バスに関する意見を聴取
- ▶令和3年3月策定の鶴岡市地域公共交通計画に市街地の交通手段の将来像として明記

運行経路決定にあたり

- ▶市役所内で部局を横断し、運行ルート決定のための情報を収集
- ◎福祉担当部門
 - ・高齢者のみの世帯が多い地区をリストアップ
 - ・民生児童委員等への市内循環バスの情報発信と庄内交通株式会社を実施するバスの乗り方教室の実施希望団体の募集。
- ◎土木担当部局
 - ・運行ルートの検討材料となるバス停の設置や除雪・積雪に関する情報の提供
- ◎商工観光部局
 - ・買物動向や観光移動の実態に関する情報提供、観光のモデルコースの検討。

運行開始後

- ▶市広報等での情報周知を実施



	再編前	再編後
運行便数	12便/日	48便/日
バス停数	58ヶ所	79ヶ所 (約300mに1ヶ所)
路線数	2系統4路線	3系統6路線
運行日	月～金曜日	毎日 (年末年始除く)
運賃	200～420円	一律300円

12人乗り車両を導入することで、今まで通過できなかった地域も運行可能に。

その他、利便性向上のため、

- ・高齢者のみの世帯が多い地域を通過するように路線を設定
- ・毎時〇分発のように、わかりやすいダイヤを設定

出典：鶴岡市 ホームページ

国土交通大臣表彰の受賞について（市内循環線再編の取組）・公共交通を利用しましょう！

<https://www.city.tsuruoka.lg.jp/seibi/tiikikoukyoukoutu/daijinhyouyou.html>

- 6 -

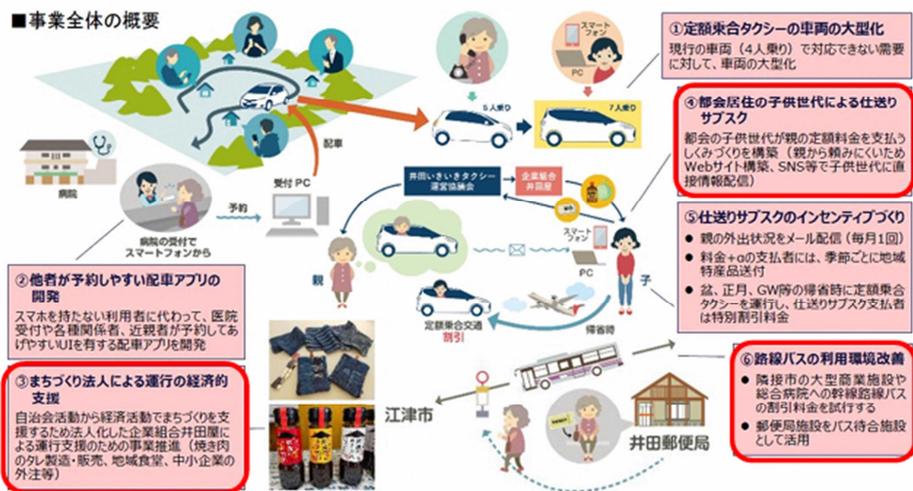
デマンド交通の効率化・合理化に関する他県事例

中部地域④

タイトル	地域経営エコシステムで支える過疎地域の公共交通構築事業		
取組地域	島根県大田市	実施者	【共創プラットフォーム】 井田いきいきタクシー活性化プラットフォーム
実施時期	2019年11月		【運送事業主体】 井田いきいきタクシー運行協議会 ※自家用有償旅客運送の運行主体 【共創パートナー】 井田屋（企業組合）、石見交通（バス事業）
事例の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市バスや民間路線バスの本数不足や年金生活者の負担軽減を目的に、定額乗合タクシー「いきいきタクシー」を導入した。 ・スマホ非保有者向けに、地元医院や行政機関で代理予約が可能な配車アプリの実証実験を実施した。 ・AI オンデマンド交通利用者に対し、石見交通が路線バス割引チケットを発行し、デマンド交通との接続強化を図る。 ・井田いきいきタクシーは（株）バイタルリードの「TAKUZO 配車システム」を活用して運行している。 		
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>会員制として月額3～5千円程度の定額（サブスクリプション）で乗り放題</u>である。これにより、乗れば乗るほどお得という意識になり利用が増える。 ・<u>サブスクリプションに慣れている若者世代が、その親世代に仕送り</u>といった形で、渡すことにより、<u>高齢者の加入のハードル</u>が下がっており利用につながっている。 ・運行は平日の9時～16時（タクシー需要の少ない時間帯）。 ・最低限の運行リソースで運行（1台で運行）があげられる。 ・1台の車両で全ての需要をオンデマンドで対応するため、先約があれば同方向であれば相乗り、逆方向であれば時間をずらしていただく必要があるサービスである。 		
取組効果	<ul style="list-style-type: none"> ・約6割の利用者の外出回数が増加した（増加回数4.2回/月）。 ・<u>乗り放題サービスによって地域イベントや温泉入湯、友人宅訪問の楽しみが増え、地域での生活満足度や心身の健康状態が向上。</u> ・<u>免許返納が増加。</u> ・井田いきいきタクシー利用者の路線バスやJR等の幹線公共交通利用率は、非利用率よりも高くなった。 		
参考資料 URL	<ul style="list-style-type: none"> ○国土交通省「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト 令和4年度事業採択事例 https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/kyousou/examples/22012-1.pdf ○日本モビリティ・マネジメント会議 令和5年度JCOMM賞 https://www.jcomm.or.jp/award/award-r5/ ○第65回土木計画学研究発表会・講演集 過疎地域における定額乗合タクシーの取組 http://library.jsce.or.jp/jsce/open/00039/202206_no65/65-PS2-34.pdf ○島根県大田市公式サイト 井田いきいきタクシー https://www.city.oda.lg.jp/ohda_city/city_organization/25b/28/6907 		

デマンド交通の効率化・合理化に関する他県事例

静岡県内の他地域展開の可能性	定額会員制（サブスクリプション）を採用したことにより、免許返納の増加や利用者のウェルビーイング向上等の効果が表われており、本県でも展開できる可能性がある。
実現に向けた留意点	特になし
関連図面等	



<TAKUZO概要>

地方に **便利** な交通環境づくり

TAKUZO 定額乗合タクシー事業

タクシー事業者の収益性改善

地方の交通弱者の移動環境改善

地方自治体の交通に係る負担削減

3つのステークホルダーの課題を同時解決する

新しい地方の交通サービス

定額乗合タクシーの特徴

1ヶ月乗り放題の乗合タクシー

- 月額 ¥3,000～¥5,000で乗り放題
- 定額運賃は、毎月銀行引き落とし（※現状離脱意向はほぼなし）
- 運行は、平日9:00～16:00（タクシーの空き時間帯を利用）
- 1台の車※（最小限の運行台数）で運行し、採算性を向上※乗客台数も可能

専用配車システムで配車

- 予約は基本、電話受付または専用アプリで予約
- 専用配車システムで複数の移動需要を兼ね、乗り合わせる
- 最小限の運行台数を効率よく配車

事業者の事業性を評価

- 導入前には、ユニットエコノミクス※を計測し、事業性評価を検証し採算ラインのとれる目標会員数等を算出 ※算定人数に及らなければ採算性不十分

過疎型AIオンデマンド配車システム

「TAKUZO過疎型AIオンデマンド配車システム」は、需給ともに少ない地方で、利用者の乗車時間を少しずつ減らしながら、タクシー1台での輸送人数を最大化し、運行コストを最小化することを目標とした配車システムです。

特徴1	特徴2	特徴3
1台のタクシーを地域でシェア	乗車等は移動時間を厳守	需要を分散

定額乗合タクシーの運行を「TAKUZO過疎型AIオンデマンド配車システム」で最適化することで、運行コストを最小化し安価な定額サービスを実現

出典：国土交通省「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト 令和4年度事業採択事例

<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/kyousou/examples/22012-1.pdf>

デマンド交通の効率化・合理化に関する他県事例

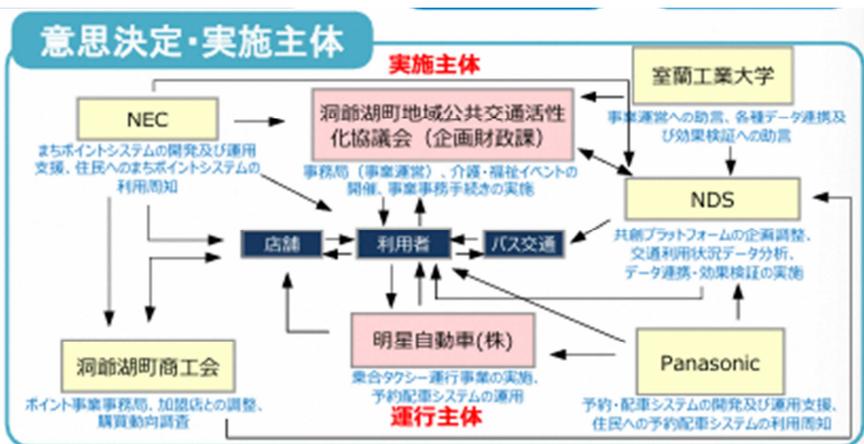
中部地域⑤

タイトル	まちポイントの活用による公共交通と地域活性化プロジェクト		
取組地域	北海道洞爺湖町	実施者	【導入】洞爺湖町地域公共交通活性化協議会 【運行主体】明星自動車(株)
実施時期	2024年10月～ 2025年2月		【ポイント事業・加盟店調整等】 洞爺湖町商工会 【助言】室蘭工業大学 【技術】NEC、NDS、Panasonic
事例の概要	<ul style="list-style-type: none"> 当町では、利用者減による公共交通の存続問題、自家用車依存によるにぎわいの低下及び自家用車を活用した町外大型店舗への買い物需要流出による地域商業施設の存続危機が課題である。これら課題を解決するため、利用者が大幅に減少している区間における乗合タクシー導入による効率的な交通確保、公共交通利用者を優遇した「まちポイント事業」により地域活性化を図ることが目的である。 洞爺湖町の北側エリア⇄南側温泉街⇄JR洞爺駅間をつなぐ予約式のデマンドタクシーを運行。 乗合タクシー（自家用有償旅客運送） 予約方法：町公式LINE、電話 ※町民誰でも利用できるように町公式LINE 料金：町民200円（子供・高齢者・障がい者100円）、町外者は一律500円 室蘭工業大学・NDSと連携し、動画データのAI分析による公共交通ODデータ取得等により事業の効果検証を行う。 		
特徴	<ul style="list-style-type: none"> 「とうやコイン（まちポイント）」の会員情報を予約に紐づけ、町民を識別し、町民と町外者で利用料金を変えるなど町民に利用しやすい仕組みを構築。 デマンドタクシーと買い物の双方で「とうやコイン」を利用することでボーナスポイントを付与するなど、外出に対するインセンティブを与えた。 実証運行にあたって説明会を開催したが、説明会に来られない高齢者などに配慮して、自宅訪問による直接説明も実施。 		
取組効果	<p>【実証実験の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運行期間：2024/10/1～2025/2/28 利用者数：1,144名（433運行） 平均乗合人数：2.5人/1運行 <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の公共交通利用者数が増加し、特に町内公共交通利用者数が830人/月（平均）に達した。 北側地区と南側温泉街、JR洞爺駅間の交通手段が確保され住民の外出機会が増加した。 「まちポイント」による地域活性化にも寄与した。 <p>【見込まれる効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本事業の実施により、町内公共交通利用者数を増加：特に利用者数が著しく少ない日中時間帯における利用者増（目標1,280人/カ月）させるとともに、地域活性化の視点でまちポイント事業の実施により町内商業施設の売上増加（目標1,300千円/カ月）、にぎわい創出の視点で当町主催の介護・福祉イベントへの参加者数増（目標150人/カ月）などを設定し、効果検証については本事業で進めるデータ連携により実施するものとし、今後も継続的な効果検証が可能な仕組みを構築する。 		
参考資料 URL	<p>○共創・MaaS実証プロジェクト-【実証運行事業】令和6年度事業採択事例 https://kotsu-kuhaku.jp/adopter_6/kyousou/report/?case=hokkaido08</p> <p>○国土交通省 令和7年度「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト まちポイントの活用による公共交通と地域活性化プロジェクト</p>		

デマンド交通の効率化・合理化に関する他県事例

静岡県内の 他地域展開 の可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域通貨を導入している市町では、公共交通と買い物双方で利用者にインセンティブを与えられる。 ・地域通貨の会員情報から、公共交通利用者のデータを取得し分析することができる。
実現に向け た留意点	地域通貨導入に対する交通事業者の理解（システムの導入又は更新が必要となる可能性が高い）

関連図面等



運行実績・成果

運行実績	● 運行期間：2024/10/1～2025/2/28
	● 利用者数：1,144名 (433運行)
	● 平均乗合人数：2.5人/1運行
成果	● 地域の公共交通利用者数が増加し、特に町内公共交通利用者数が830人/月(平均)に達した
	● 北側地区と南側温泉街、JR洞爺駅間の交通手段が確保され住民の外出機会が増加した
	● 「まちポイント」による地域活性化にも寄与した
	● 「まちポイント」による地域活性化にも寄与した

収入	169,200円 (内訳 運賃収入:169,200円)
支出	59,703,333円 (車両購入費・予約システム開発費・まちポイント導入費他)
ランニングコスト	10,828,443円 (運行費用、コールセンター費用他)
損益	▲70,362,576円 ※協議会が負担 (共創・MaaS実証プロジェクトを活用)

出典：共創・MaaS 実証プロジェクト-【実証運行事業】令和6年度 事業採択事例

https://kotsu-kuhaku.jp/adopter_6/kyousou/report/?case=hokkaido08

出典：まちポイントの活用による公共交通と地域活性化プロジェクト

https://kotsu-kuhaku.jp/adopter_6/all-list/report/hokkaido08.pdf